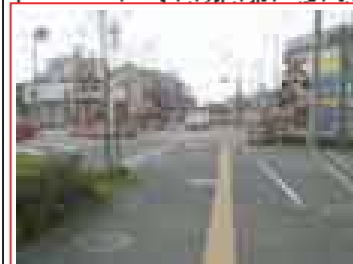
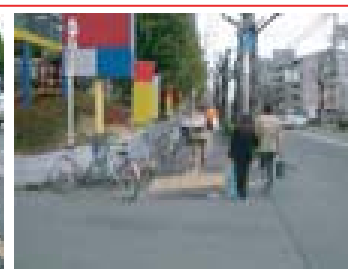




・沿道の店舗の看板や放置自転車が、通行の支障となっている区間がある。

放置自転車の多い箇所

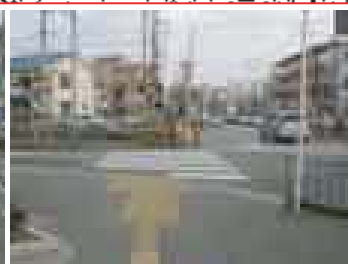


・踏切内では、視覚障害者誘導用ブロックに代わる誘導方法を検討してほしい。

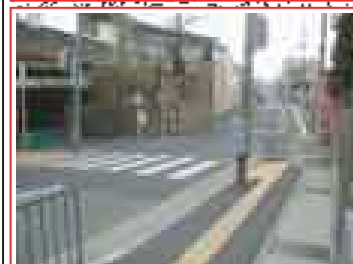
・レールの隙間に、車椅子の車輪がはまりそうになる。

・踏切の北側を東から西へ横断する場合、牧落公園線の箕面方面から中央線の東方向へ左折する車が多く、待避場所もないため、安全が確保されていない。

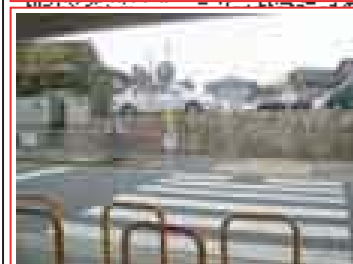
・踏切の北側を渡りきった西側の部分に視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていないため、視覚障害者が一人で通行するのは危険である。



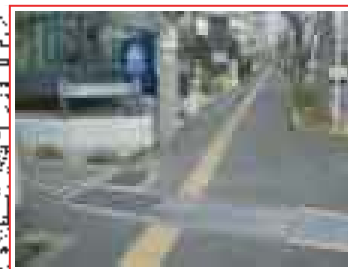
・車両乗入部が連続しており、歩道が波打っている。



・隧道付近では、急な下り坂となっているため、車椅子での通行は危険である。



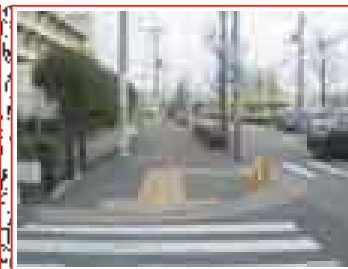
・視覚障害者誘導用ブロックが駅前で途切れている。



・歩道内にグレーチングや鉄板があり、雨の日に滑る危険性がある。



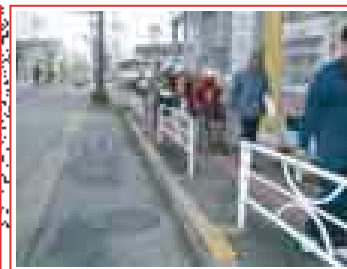
・信号機に押しボタンが設置されていても、ボタンのある位置まで視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていない。



・歩行者用信号機が設置されていない。（北側東西方向）



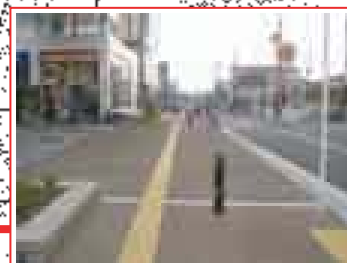
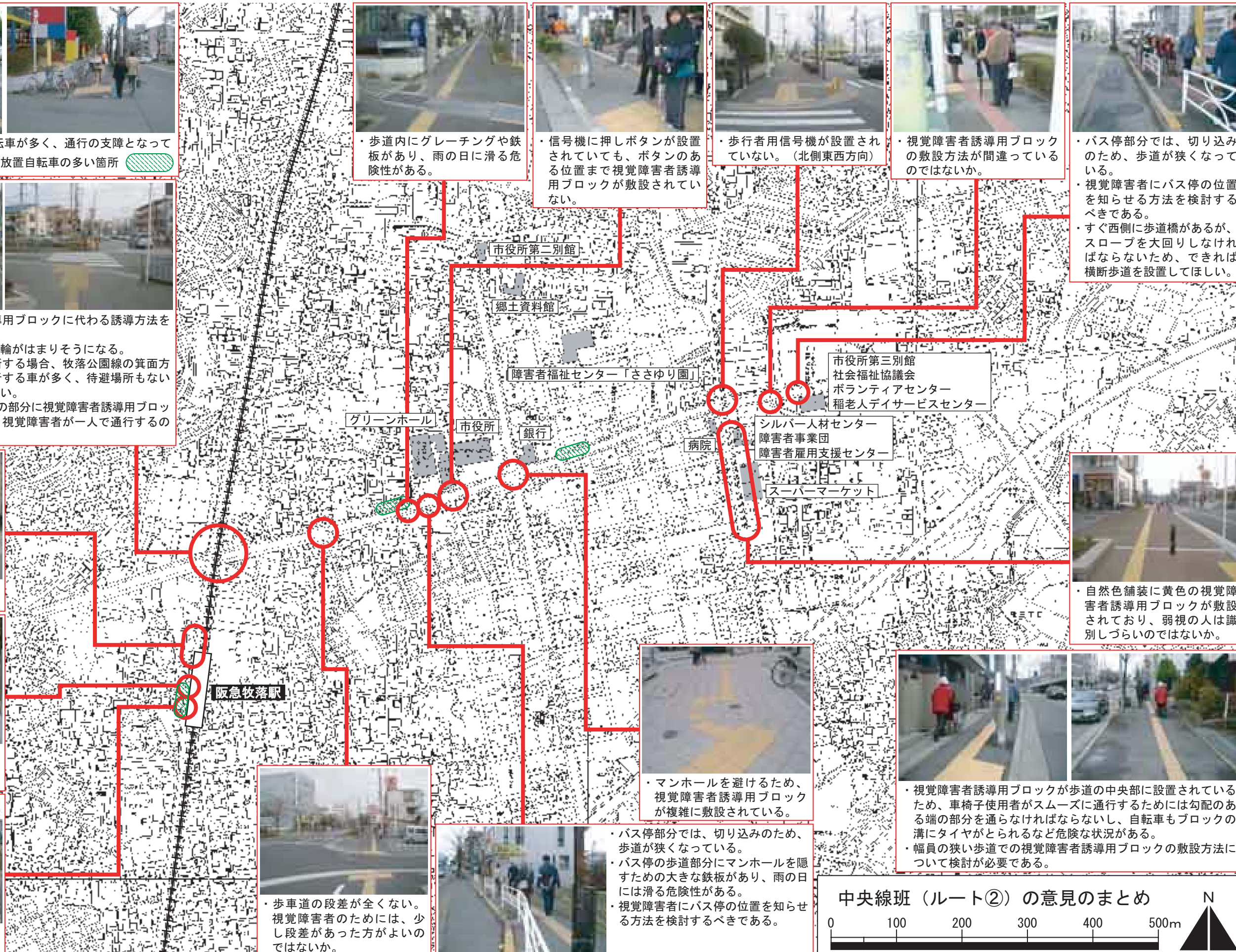
・視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法が間違っているのではないかと。



・バス停部分では、切り込みのため、歩道が狭くなっている。

・視覚障害者にバス停の位置を知らせる方法を検討するべきである。

・すぐ西側に歩道橋があるが、スロープを大回りしなければならないため、できれば横断歩道を設置してほしい。



・自然色舗装に黄色の視覚障害者誘導用ブロックが敷設されており、弱視の人は識別しづらいのではないかと。



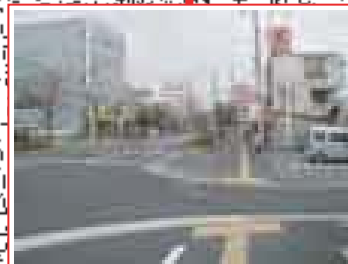
・マンホールを避けるため、視覚障害者誘導用ブロックが複雑に敷設されている。



・バス停部分では、切り込みのため、歩道が狭くなっている。

・バス停の歩道部分にマンホールを隠すための大きな鉄板があり、雨の日には滑る危険性がある。

・視覚障害者にバス停の位置を知らせる方法を検討するべきである。



・歩車道の段差が全くない。視覚障害者のためには、少し段差があった方がよいのではないかと。



・視覚障害者誘導用ブロックが歩道の中央部に設置されているため、車椅子使用者がスムーズに通行するためには勾配のある端の部分を通らなければならないし、自転車もブロックの溝にタイヤがとられるなど危険な状況がある。

・幅員の狭い歩道での視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法について検討が必要である。

